

北海道博物館基本計画概要

～北海道開拓記念館のリニューアルから北海道ミュージアムへ～

序章

野幌森林公園における野外博物館「開拓の村」をはじめとする自然や歴史・文化と語り遊び学ぶゾーンを見据え、その中核施設である開拓記念館に求められる理念

- 自然、環境、アイヌ民族の先住地といった北海道の特性を活かした博物館
- 持続可能な未来に向けた人間史の博物館
- 堅固なネットワークを基盤とした道内博物館全体の中核的博物館

第1章 計画の策定にあたって

開拓記念館の現状等

- 設置の経緯
北海道百年記念事業の一つとして
昭和46年に開館
- 収蔵資料件数 155,000件

基本計画策定の趣旨・背景

- アイヌ文化など北海道固有の歴史文化等に対する関心の高まり
- 道民ニーズの変化と入館者数の減少
- 厳しさを増す道内博物館の活動
- 北海道博物館の基本方針等を示す

開拓記念館のリニューアル

第2章 北海道博物館の設置に向けて

名称

北海道博物館 (総合博物館としてイメージしやすく、ふさわしい名称に変更)

基本方針

基本的機能の充実した博物館

- ・充実した機能と質の高い活動
- ・わかりやすく、おもしろく、ためになる博物館
- ・文化創造と地域活性化の拠点
- ・道民と連携・協働する博物館

北海道の総合的な博物館

- ・自然、環境を含む未来に向けた人間史の博物館
- ・アイヌ文化を保存・継承し、未来に活かす博物館

道内博物館の中核施設

- ・地域の博物館との連携と協働
- ・人、モノ、情報のネットワークの充実強化

発揮すべき機能

資料の収集・保存

- ・先人の遺産の適切な保存

展 示

- ・わかりやすく、おもしろく、ためになる展示
- ・アイヌの歴史や文化に関する展示の充実等

教 育 普 及

- ・利用者の意見や要望などを反映した事業展開
- ・学校教育との連携強化等

調 査 研 究

- ・道内外の博物館との連携・協働
- ・アイヌ文化関係の研究機能の充実等

人 材 育 成

- ・実習生の受入や共同研究等による人材育成の充実

情 報 化 ・ 情 報 発 信

- ・情報の共有化と「北海道歴史ギャラリー」の活用

学 習 支 援 ・ レ フ ァ レ ッ ス

- ・北海道の歴史や文化の「学び」の拠点

具 体 化

取組の方向

展 示 改 訂

- ・通史展示からテーマ展示へ
- ・民間企業等と連携した企画展の取組

教 育 普 及 の 充 実

- ・生涯学習や学校教育等への支援の充実

ネ ッ ト ワ ー ク の 再 構 築

- ・ICTを活用した情報提供と地域住民等との連携

施 設 の 改 善

- ・収蔵機能の確保
- ・利便性等の向上
- ・周辺環境の改善

アイヌ民族文化研究センターとの統合検討

- ・アイヌ文化の調査研究機能の充実

管 理 運 営

- ・周辺施設との一体管理
- ・外部資金の導入・活用
- ・住民参加
- ・博物館運営の評価

基本計画を基に、展示改訂や館内配置、博物館ネットワークなどのプランを策定し、計画的に事業を推進